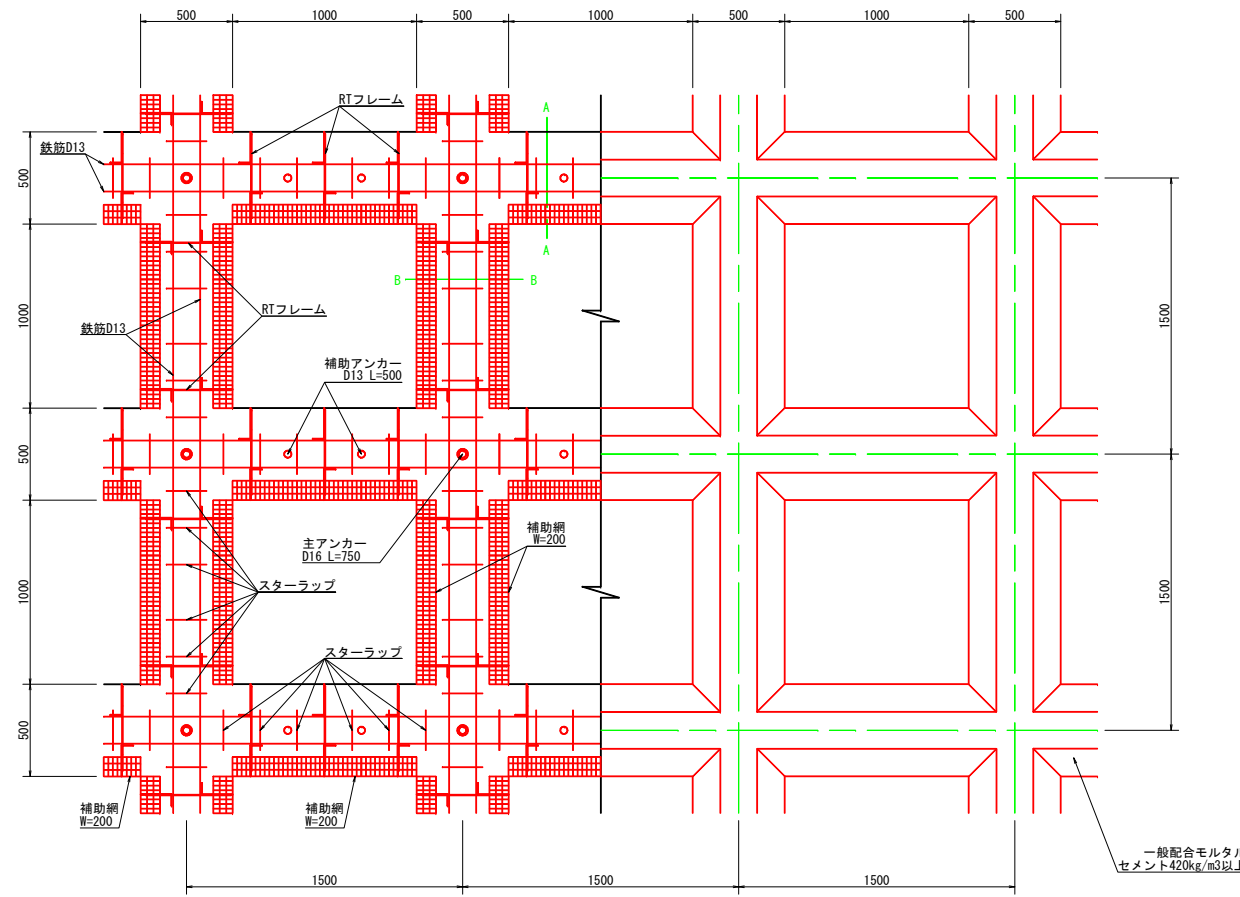
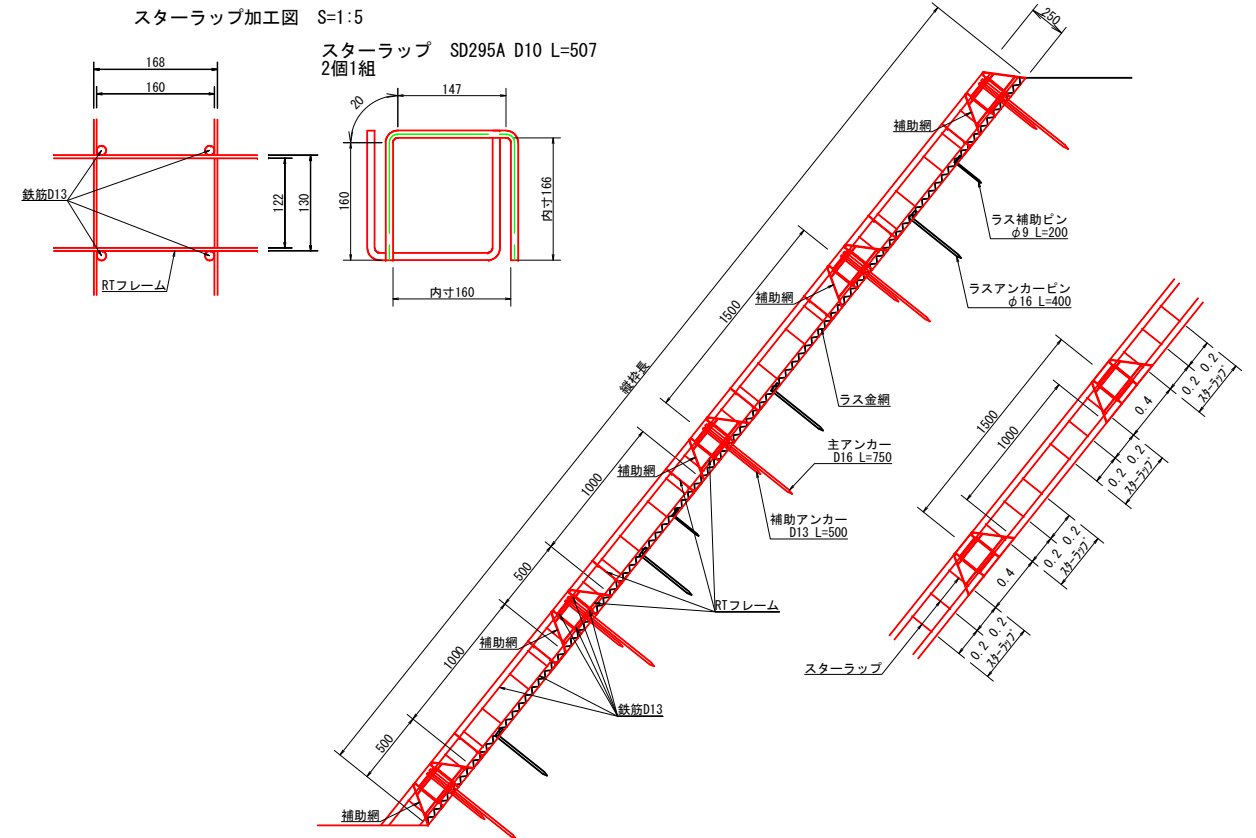


# 構造図 RTIV型 1500×1500 スターラップ仕様

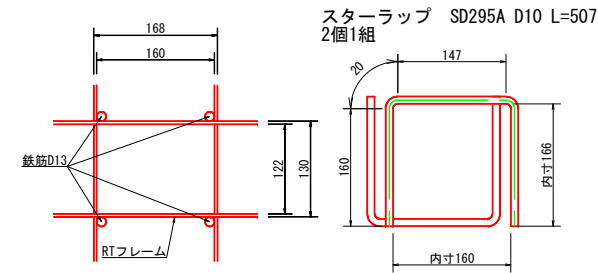
標準施工図 (正面図) S=1:20



標準施工図 (横断面) S=1:25



スターラップ加工図 S=1:5



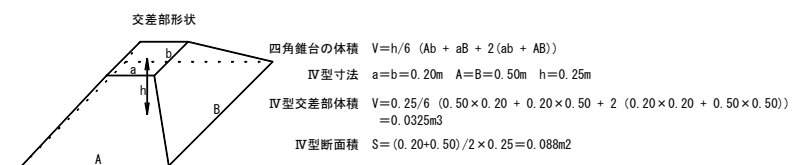
## 標準数量 (積算基準数量)

高さ21.50m×長さ48.50m=1042.75m<sup>2</sup>の法面として数量算出  
 横枠数 = (21.50m-0.50m)/1スパン1.5m=14スパン ×15段  
 縦枠数 = (48.50m-0.50m)/1スパン1.5m=32スパン ×33列

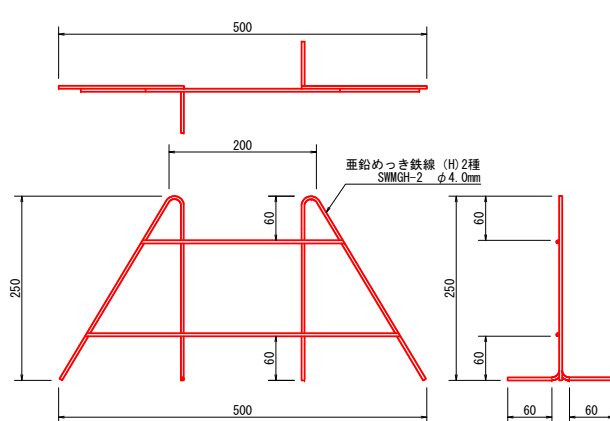
項目	材料	数量	数量計算	備考
法枠長		1189.50m	(21.50m×33列+48.50m×15段)-33列×15段×0.50m=1189.50m	
鉄筋加工組立工	鉄筋 D13 SD345	5719.26kg	(21.50m×33列+48.50m×15段) × 4本 × 0.995kg/m=5719.26kg	*損失ロスを含まない数量。鉄筋使用量には1%加算が必要。
スターラップ設置工	スターラップ加工品	5652箇所 × 2ヶ	縦枠 6箇所/スパン×14スパン×33列=2772箇所 横枠 6箇所/スパン×32スパン×15段=2880箇所	
RTフレーム設置工	RTフレーム IV型 W=200-500 h=250	2364個	縦枠 2個/スパン×14スパン×33列=924個 横枠 3個/スパン×32スパン×15段=1440個	
主アンカー設置工	先付けアンカー D16 L=750	495本	33列×15段=495本	
補助アンカー設置工	先付けアンカー D13 L=500	960本	2本/スパン×32スパン×15段=960本	
補助網設置工	吹付け用金網 200×1000	1404枚	縦枠 2枚/スパン×14スパン×33列=924枚 横枠 1枚/スパン×32スパン×15段=480枚	
枠内清掃工		448箇所	14スパン×32スパン=448箇所	
法枠吹付け	一般配合モルタル	110.37m <sup>3</sup>	断面積=0.088m <sup>2</sup> 交差部体積=0.0325m <sup>3</sup> (21.50m×33列+48.50m×15段) × 0.088m <sup>2</sup> -33列×15段×0.0325m <sup>3</sup> =110.37m <sup>3</sup>	*損失ロスを含まない数量。吹付け使用量には3%加算が必要。
枠内面積		448.00m <sup>2</sup>	1042.75m <sup>2</sup> -1189.50m×0.50m=448.00m <sup>2</sup>	

## 注意事項

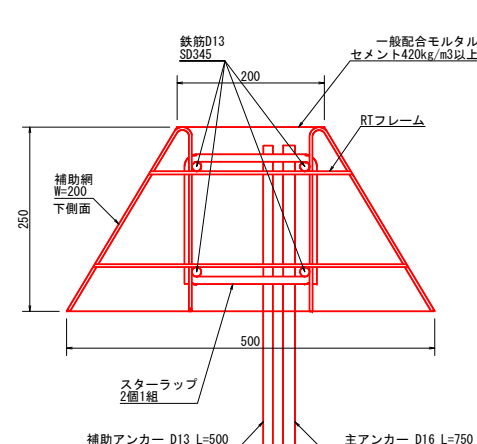
- \*本表記載の数量は、法枠長1.0m当りの工事単価を求める積算基準数量であり、基準スパンに基づいて求めた数量である。実施スパンは法面形状に応じて調整を行うので実施数量も変動するが、単価積算での数量変更は行わないものとする。
- \*モルタルの設計基準強度は18N/mm<sup>2</sup>に設定している。(標準配合:セメント420kg/m<sup>3</sup>、1:4モルタル)
- \*モルタルに混和剤・添加剤は含んでいないので、必要に応じて計上するものとする。
- \*鉄筋はD13×SD345を標準とし、重ね長さは455mm以上とする。(計算書による。)
- \*各アンカーは、吹付中に鉄筋がズレないように状態に設置し、鉄筋を固定する。
- \*横枠の下側面と、縦枠の両側面へ補助網(吹付け用金網相当)を設置し、モルタルのダレを防止する。設計網幅は必要最低限の200mmとしているので、200mmより広いものを使用してもよい。
- \*吹付の仕上げは自然状態とし、小手による整形は行わないものとする。但し、ロックボルト併用の場合の角金設置面は、平坦な仕上げとする。



RTフレーム詳細図 S=1:5  
RTIV型 スターラップ仕様



A-A断面 S=1:5



B-B断面 S=1:5

